



## 自然に育まれた資源を活かした 地域ブランド化で落石をPR!

寺崎 直人 さん (てらさき なおと)  
おちいし  
落石地区マリンビジョン協議会 (落石漁業協同組合 参事補)

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクールで大賞・優秀賞を受賞した「落石地区マリンビジョン協議会」の寺崎直人さんにお話を伺いました。



### 《豊富な地域資源を最大限に活かして》

根室市の落石地区は、北海道の最東端にある根室半島の付け根に位置し、落石岬に囲まれた天然の地形を利用してつくられた漁港です。一年を通してサケ漁、タコ漁、ウニ漁など異なる漁が営まれ、周りには根室十景の落石岬、浜松海岸、長節湖や国の天然記念物に指定されているサカイツツジが自生する原生の自然に囲まれたところです。その自然に育まれた資源を活かして、将来における豊かで活気のある漁村を構築するため落石地区マリンビジョン協議会が設立されました。

協議会では、基幹産業である落石産水産物の消費拡大・ブランド化等の付加価値向上、落石岬と浜松海岸の2コースを巡るフットパス、漁船を活用したネイチャークルーズによる体験型観光の振興、漁港を会場とした地場の水産物販売の「おちいし味まつり」による地域振興・コミュニティの活性化など地域資源を最大限に活かした活動内容になっています。



落石産水産物の展示会



漁船を活用したネイチャークルーズ



たくさんの人が詰めかけた「第15回おちいし味まつり」  
(2025年5月25日開催)

### 《落石地区の活性化を次世代へつなぐ》

ネイチャークルーズは、北海道指定天然記念物の「ユルリ・モユルリ島」が間近で見られ希少野鳥のエトピリカやケイマフリなどの海鳥に出会えます。年間900人ほどが訪れ海外の旅行者も増えています。霧や天候不良で中止にならないければ1,000人を超える参加者が期待できます。

「おちいし味まつり」は、落石漁港の中央埠頭を会場とし、旬の地元水産物や地元の食材をふんだんに使用した食事を販売します。その他、各種イベントを用意し毎年多くの方が訪れています。15回目の今年はいにくの雨予報で事前にイベント中止の告知をしたにもかかわらず、想定外の4,500人以上の来場者が詰めかけて港は盛り上がりました。

フットパスは、全長7.4kmの落石岬パスと8kmの浜松パスの2コースが整備され、湿原を見ながら歩いたり時期によっては天然記念物のサカイツツジが見られます。過去に大会も行われていましたが、最近クマの出没が多くて再開に向けて準備中です。

落石産の「船上活メあきさけ」や「船上沖詰さんま」といった地域ブランド「しお風」を確立しましたが、漁獲量不足で現状は厳しいです。現在は「タコ」をメインとした商品開発で、しお風に続く地域ブランド化を目指しています。昨年は、首都圏の居酒屋で落石産の水産物を提供するフェアや札幌の居酒屋を対象に展示会を開催しました。今年から落石地区の空き建物を改修し工場として本格的に稼働しています。

これからも基幹産業の水産物を次世代へ継承しながら、落石地区の活性化のために協議会は活動していきます。

当協会ホームページ、「わが村は美しくー北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子「生産空間の活性化に資する地域事例集」をご覧ください。

